

# フィジカルAI覇権争い：日本の「現場知」を守る国家防衛戦略

【課題】データ独占の脅威と「ハードの下請け化」リスク

テキストデータ(現状)

物理AI実動データ(必要)

致命的な「物理データ」不足



10万年分

1万時間分



テキストデータ(現状)

物理AI実動データ(必要)

海外企業による「現場知」の囲い込み

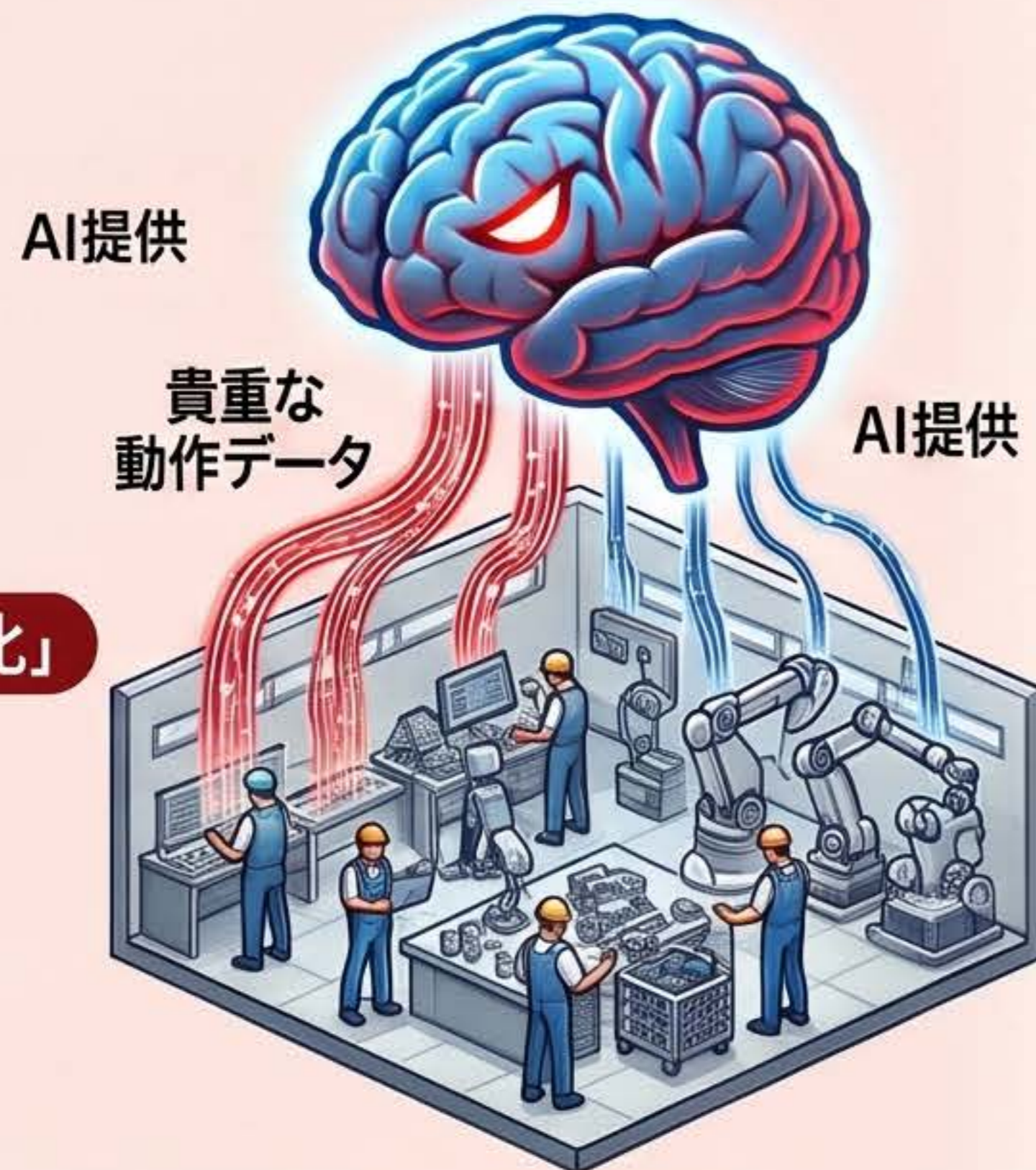


基盤モデル(脳)

ロボット産業の「Foxconn化」



単なるハード組み立て層  
(付加価値なし)



AI提供

貴重な  
動作データ

AI提供

貴重な動作データ

【解決策】データ主権を守る「反転攻勢」のアーキテクチャ

暗黙知の「AI-Ready」化



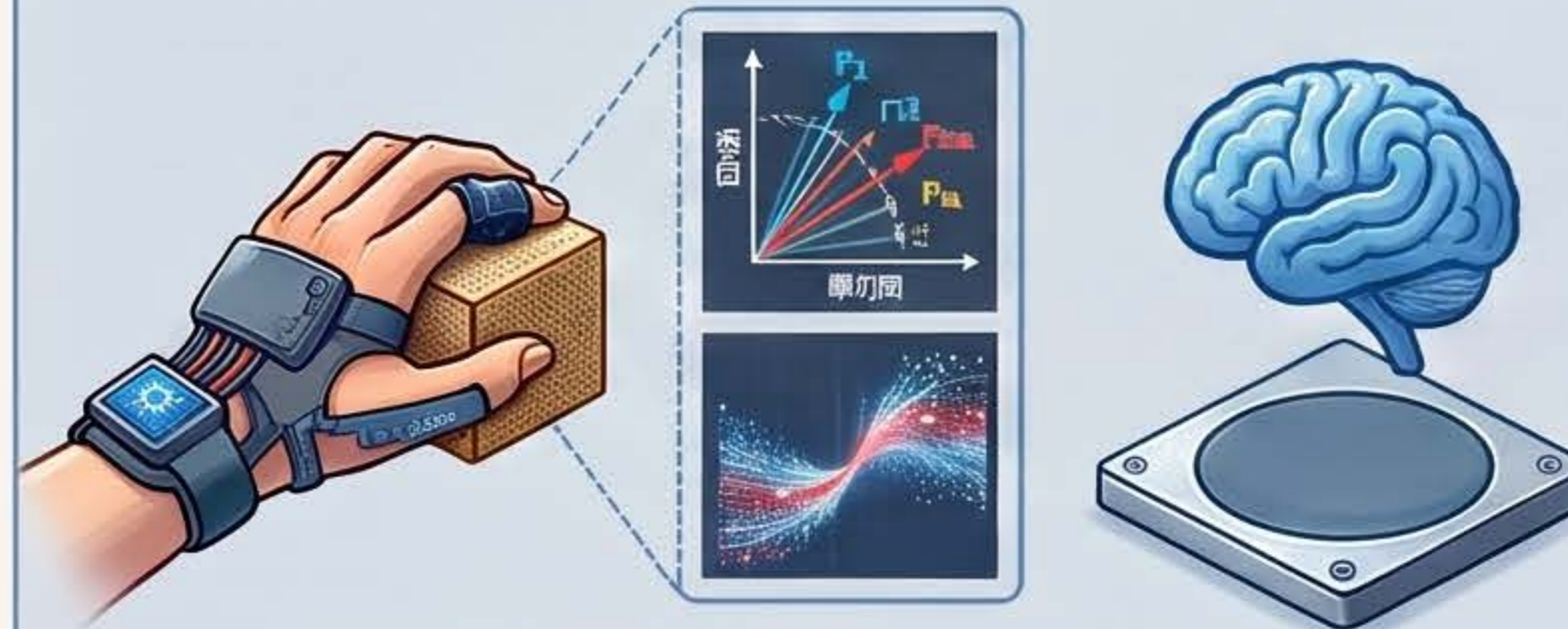
マルチモーダルセンシング  
&  
構造化変換

現場知  
(暗黙知)  
データ

ペンダーニュートラルな「産業データスペース」



日本独自の「視触覚(VTLA)」データセット



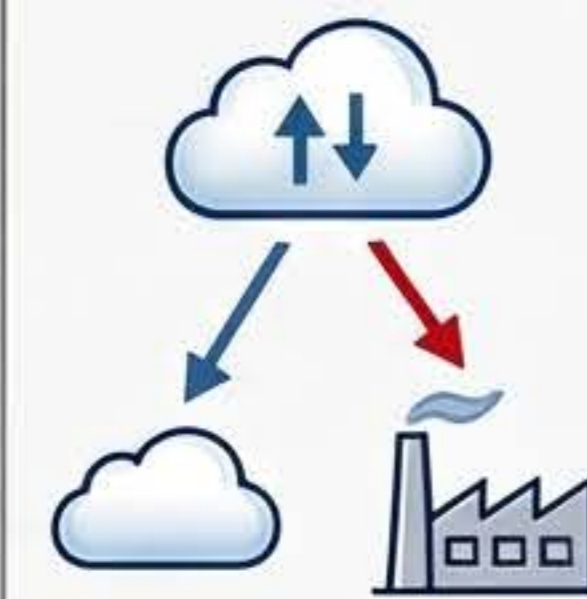
力加減・滑り感覚データ  
(模倣不可能)

国産AI基盤モデル

日本の主要プレイヤーによる防衛戦略の比較

ロックイン回避

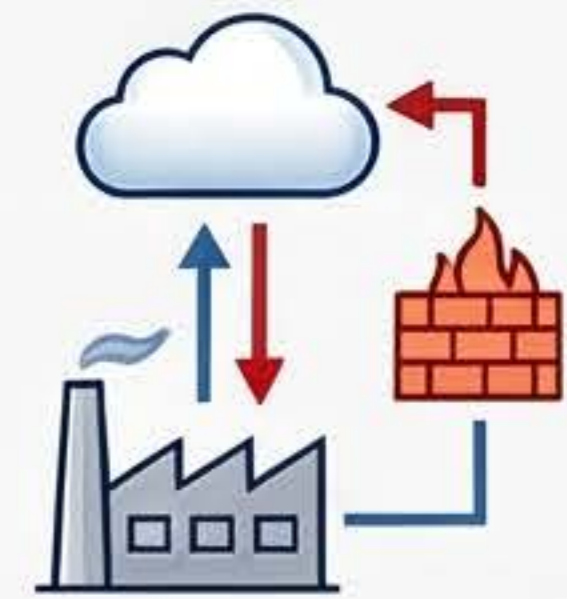
ファナック



クラウドとエッジを  
使い分ける「二刀流」で  
主専権を維持

エッジ処理

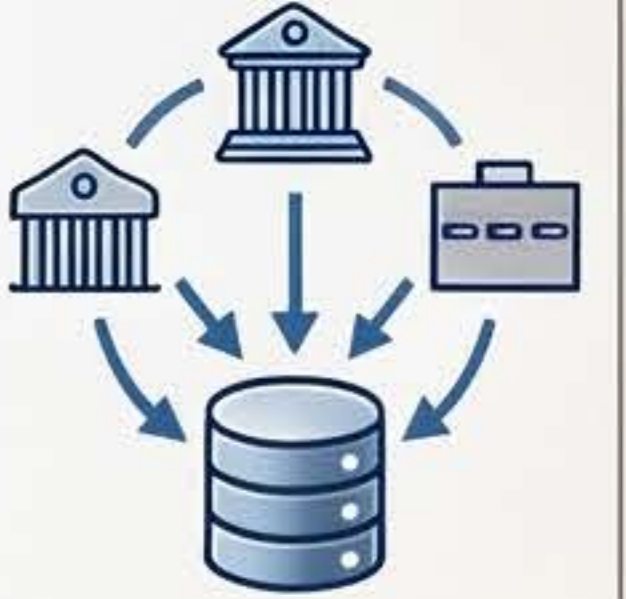
安川電機



クラウドに頼らず現場  
(エッジ)で解析し、  
データ流出を遡断

共同プール

GENIAC/AIRoA



産学官で視触覚デー  
タ等を共有し、国産基  
盤モデルを育成